

## 環境倫理

### 大陸顧問 デイヴィッド・チットルバロウ

環境問題は、平和、軍縮、女性の進歩のような他の問題から切り離して考えることはできない。バハイの見解では、世界の病を治すのに必要なものは、世界の政治的、社会的組織の再構築以外の何物でもないということである。

「歴史における狩猟期の終焉」という論文の中で、シモン・ペレスはこう述べている。最近の10年間の重大な出来事は、変化の法則に従うことに失敗した。というのは、「軍隊や政党のような古典的政治制度や超大国さえも、全く役割を果たせなかったからである。」その理由は、共産主義やアパルトヘイトの崩壊のようなこの底知れぬ変化は、「存在の真の内部に生じた変化である根本的変化に対する闘争」だからである。「もはや『力と幸福』は、物質的資源から生じるのではなく、科学、技術、情報のような知的次元から生じる」と彼は書いている。この考えは、バハイの見解と類似している。

そのような根本的変化は、新しい価値観、つまり、一つの地球社会の市民として調和して暮らしたいという人類の願望を表す価値観によって起こされつつある。この調和には、必然的に環境と調和して暮らすことも含まれる。バカラフ・ハベルがそのことを最も簡潔に述べている。1990年のアメリカ議会への提言で彼はこう述べている。

人間の意識の領域で世界的変革が起きなければ、人間としての存在によりよい変化を起こすものは何もないだろうし、世界が向かっている大災害は避けられないだろう。我々は、行動におけるただ一つの真のバックボーンは、責任感であることを未だに理解できないでいる。つまり、自分の家族、国家、会社、成功より遙かに高いものに対する責任、行動のすべてが取り消されないように記録され、適切に裁かれるただ一つの存在の秩序に対する責任感である。

世界市民の意識を開発することは容易ではないが、バハオラはこう述べている。「地球の人々と血縁の最大の利益を促進するために立ち上がる者は祝福され、幸福である。」

またこうも述べている。「自国を愛する者は自慢に値せず、全世界を愛する者こそ称賛に値する。地球は一つの国であり、人類はその市民である。」このように、環境問題の解決は大部分、この世界観をしみこませることにある。

しかし、この解決には一定の共通の価値観を発達させることも必要である。グローバル・ガバナンス委員会が述べているように、結局、共通の価値観によって強化された基盤に基づかない限り、いかなる機構もうまく機能しないし、いかなる法律も支持されないだろう。これらの価値観は、現在と未来の世代に対する共通の責任感から知識を得なければならないだろう。

「世界平和への確証」の中で、このことは社会的、環境的再構築への必要条件として述べられている。すべての社会問題を解決する精神的原則、あるいは、一部の人が人間の価値観と呼ぶものがある。善意の集団が広い意味でその問題を解決する実用的方法を工夫している。しかし、善意と実用的知識だけでは十分でない。精神的原則の重要な長所は、人間性に内在するものと調和する展望を示すばかりでなく、実用的な手段を発見し、実行することを容易にする態

度、原動力、意志、熱望を生じさせることにある。政府の指導者達や権限を持つ者達は、まず始めにこの原則に含まれるものを確認するならば、この問題の解決を助けられ、その後もそれによって導かれるだろう。

## 安定した世界への移行

安定した世界へ移行するために考えるべき3つの点。

1. 人口問題。 人口は10年ごとに2倍にすることはできない。人口問題は、パース・コントロール以上の問題を含んでいる。基本的変更は、女性の教育、経済的発達、子供と女性の健康に向けられなければならない。
2. 経済問題。 根本的変化が求められている。我々は自然の資本ではなく、自然の配当金によって生活しなければならない。一つの戦略は、価格構成に環境財産を組み入れることである。また、安定を促進するために財政上の刺激を使用することもできる。
3. 技術向上。 現在の技術では将来対応できない。たとえば、生産量や単位は劇的に下がるだろう。このことは製造方法に大きな変化が起こることを暗に示している。

ルッケルシャウスの価値観についての考えと持続可能な発展のためにその価値観を実現する機構。我々は、まず第1に持続性を生み出す意識を創造する価値観を確認する必要がある。世界的メカニズムへの提案に沿った価値観の実行のために、機構が確立されなければならない。持続可能な発展と環境保護のために法的、道徳的取り組みを作ろうとする現在の世界的成果には、国際環境開発条約と国際憲章の公式化がある。

## 結論

パハイの書物は次のように示している。世界の秩序は、すべての人間科学が正しいと認めている精神的真理である、人類は一体性であるとする考えの揺るぎない認識の上のみ築かれる。人類の一体性を受け入れることは、人類の故郷である一つの国としての世界を再構築し、行政を行うための、第1の基本的必要条件である。この精神的原則を世界中で受け入れることは、世界平和を確立しようとする試みが成功するために不可欠である。

またこの原則を受け入れることは、自然との調和を確立し、持続可能な開発を確立する試みが成功するために欠かせないものである。